

潟と砂丘と人の環をつくらう

NPO法人河北潟湖沼研究所

かほくがたこしょうけんきゅうじょ

河北潟で水質悪化やゴミが大きな問題となっていた1994年、河北潟の環境を回復させようと、住民、研究者、企業の代表者が集まって設立されたのが河北潟湖沼研究所です。1999年にはNPO法人となりました。河北潟とその周辺地域の現状を把握し、地域の自然環境保全や地域振興に関する研究、実践活動をしています。

2005年からは河北潟周辺の水辺にはびこる外来植物・チクゴスズメノヒエの除去活動を始めました。それをきっかけに、河北潟周辺の自然環境を保全するための野菜作りやお米作りに取り組んでいます。

河北潟の水辺だけでなく、周辺の圃場、内灘砂丘、そして人。地域全体がつながり、良い循環ができることを目指して、地域に密着した活動をすすめています。



◆ 河北潟

石川県のほぼ中央に位置する石川県で一番大きな湖。かつては海水と淡水が混ざり合う汽水湖であったが、現在は完全に淡水湖である。1963年からの干拓事業で湖面の約3分の2が干拓された。西には内灘砂丘があり、東から南にかけては水田が広がる。

◆ 内灘砂丘

河北潟のとなりにある長さ約10km、幅約1km、最高点約60mの日本でも有数の大きな砂丘。

河北潟地域で循環をつくる

外来植物除去活動をきっかけに、持続可能な地域をつくるため、新しい農業の提案と、農家との協働をすすめています。

■ チクゴスズメノヒエ

イネ科の外来植物です。河北潟周辺では2000年ごろから見られるようになり、わずか数年で地域の水辺に爆発的に広がりました。水面を覆うように繁茂し、水の流れを妨げたり、在来の水生植物やポンプ場などの水利施設などにも影響を与え、問題が起こっています。



チクゴスズメノヒエ

■ チクゴスズメノヒエ除去活動

河北潟湖沼研究所では2005年から、チクゴスズメノヒエの除去活動を継続しています。活動場所はおもに農業用の水路です。周辺地域の農家の方や住民、行政とともに、レーキやイカリなどを使って、手作業中心で除去活動をおこなっています。



除去活動

■ 七豊米 協働の米づくり

除去活動に地域住民の参加が増えるよう、水辺と地域住民の接点をつくるために、協働で無農薬の米作りを始めました。お米は「七豊米」と名付け、水辺保全活動から生まれたお米として販売しています。



ハサ干し中の七豊米

■ 生きもの元気米

除去活動で出会った農家の方と連携して取り組んでいます。田んぼの生きものに大きな影響を与えている「畦の除草剤使用」と「農薬の空中散布」の二つを減らすため、これをおこなわずに作ったお米を慣行農法で作ったお米より高く販売します。これにより環境負荷を減らした農法を広め、河北潟の自然環境が改善されることをめざしています。



すすめ野菜

■ 地域循環をつくるすすめ野菜

除去したチクゴスズメノヒエを有効活用するため堆肥化し、これを内灘砂丘の畑で利用して野菜を作っています。野菜はチクゴスズメノヒエの「スズメ」とって、「すすめ野菜」と名付け、販売しています。野菜を通じて水辺保全活動への関心を高め、活動への参加がひろがることをめざしています。チクゴスズメノヒエは河北潟にあればただの厄介ものですが、人が手を加え、となりの内灘砂丘に運ぶことで、化学肥料の使用を減らしながら、おいしい野菜ができる、という良い地域循環がうまれます。

お米と野菜を買って応援してください

買ってくださる方が増えれば、取り組んでくださる方も増え、河北潟周辺農地、ひいては河北潟の環境改善につながります。

◆ 生きもの元気米

畦の除草剤不使用、農薬の空中散布なしで農家の方が作ったお米です。「どこの田んぼで」「誰が作った」お米かがはっきりとわかります。栽培中の田んぼでは、河北潟湖沼研究所が生きもの調査をおこない、調査結果をパッケージに表示します。

◆ 七豊米

河北潟湖沼研究所が中心となって地域住民、農家の方と協働で、農薬をいっさい使わずに苗から作っています。除草剤も殺虫剤も使わず手作業で除草し、天日でハサ干した特別なお米です。

◆ すずめ野菜

チクゴスズメノヒエ堆肥を利用し、内灘砂丘の畑で作っている野菜です。農薬はいっさい使わず、手間暇かけて育てています。

◆ ネットショップで販売しています ◆

すずめ野菜 <http://suzumeyasai.cart.fc2.com/>

河北潟湖沼研究所のお米屋さん <http://kahokugata.cart.fc2.com/>

地域活動

■ 河北潟自然観察会

1998年から、偶数月の第1日曜日の9:00~12:00に開催しています。生きものや植物の専門家と一緒に河北潟をまわります。大勢の人でじっくりと観察することで、身近な自然の新たな一面を発見できます。

■ こなん水辺公園自然解説員

河北潟の南にある「金沢市こなん水辺公園」に自然解説員を派遣し、来園者へのネイチャーガイドや河北潟の自然情報を発信しています。

■ こなん水辺公園救援隊

「金沢市こなん水辺公園」を市民の力でより良いものにするため、市民、行政、業者、NPOの四者協働で公園作りをおこなっています。



こなん水辺公園救援隊

調査・研究活動

■ 調査・研究実績

- ・河北潟干拓地水辺ビオトープ造成と経過調査(1998～2003年)
- ・河北潟周辺の水生生物調査(1999年)
- ・ミサゴ営巣状況調査(2000年～継続中)
- ・河北潟西部承水路調査(2002年～継続中)
- ・河北潟植物相調査(2008年)
- ・水田の生物多様性に関する調査(2012年～継続中) 等

■ 河北潟総合研究 発行

河北潟湖沼研究所が年1回発行している機関誌です。河北潟や地域の自然、生活や文化、歴史等に関する研究成果発表の場として、研究所会員からの投稿論文を主に構成されています。



河北潟総合研究

■ 河北潟レッドデータブック 刊行

河北潟湖沼研究所が企画し、現地調査から本の執筆、デザインまでを手がけました。これまでの調査結果を整理し、河北潟で絶滅のおそれのある動植物をリストアップした「河北潟レッドリスト」を掲載しています。干拓事業の開始から50年間の河北潟の自然と野生生物の変遷を記録した一冊です。



河北潟レッドデータブック

■ 河北潟セミナー

環境問題や農業を中心とした地域振興のありかたをメインに、多方面から専門家を講師として招き、不定期で開催しているセミナーです。参加費無料で、河北潟湖沼研究所の会員はもちろん、どなたでもご参加いただけます。平成23年9月からはじまり、年に数回開催しています。



河北潟セミナー

■ 河北潟研究助成

地域の研究をすすめたいという研究者、市民、学生などを対象に、毎年、研究にかかる経費の助成をおこなっています。これまでに、外来のカメの増加に関する研究などの重要な成果が得られています。

NPO法人河北潟湖沼研究所

〒929-0342 石川県河北郡津幡町字北中条ナ9-9

電話 076-288-5803 / FAX 076-255-6941 / メール info@kahokugata.sakura.ne.jp

研究所ホームページ <http://kahokugata.sakura.ne.jp/>

facebook <https://ja-jp.facebook.com/kahokugatalake>

ネットショップすずめ野菜 <http://suzumeyasai.cart.fc2.com/>

ネットショップ河北潟湖沼研究所のお米屋さん <http://kahokugata.cart.fc2.com/>

発行：平成26年8月1日